

「深い読みを追求する教材解釈」報告

- ◇ 8月23日(日) 名東小 参加：13名(初参加：4名 新規入会者：2名)
- ◇ 8月29日(土) 名東小 参加：7名

8月23日(日) 『ごんぎつね』(4年)

1 オリエンテーション

初参加者4人と新規入会者2人に向けて、次の内容でオリエンテーションを行った。

- 深い読みとは？(「浅い読み」と「深い読み」の違い)
- 教材解釈とは？(作家の仕掛け 子どもの理解との差)
- 教材解釈の方法(謎の発見 → 問題づくり → 問題の解決 → イメージの変化)
- 『ごんぎつね』1場面での実習

2 『ごんぎつね』3場面

ごんの言動の謎として、「ごんは、うなぎのつぐないに、まず一つ、いいことをしました」の文が挙げられ、「つぐないを始めた原因は何か？」という問題ができた。参加者の意見は、

- 1 同情したから
- 2 後悔したから

の2つに対立したが、話し合いの結果、1は否定された。

3 『ごんぎつね』6場面

ごんの言動の謎として、「その明るく日も、ごんは、くりを持って、兵十のうちへ出かけました」の文が挙げられ、「つまらないと思った明るく日も、くりを持っていった目的は何か？」という問題ができた。参加者の意見は、

- 1 兵十に知ってもらうため
- 2 つぐなうため

の2つに対立したが、話し合いの結果、ごんが裏口から「こっそり」(= 気づかれないように)と中へ入ったことから、1は否定された。

4 参加者の感想・質問

- 自分の中で整理して、子どもに返していきたい。
- 自分一人でやっても、みんなと一緒にやると変わる。たった一文でも、深く読むことができる。
- 国語が苦手なだけで教えられるが、こういう授業がしたい。
- やっていくと楽しくなる。普段は意味を調べて終わりになるが、そこから子どもと問題をつくる主体性に直結すると感じた。
- 国語が苦手でもどう教えていいかわからない。大学でもやっていない。大人でもわからないのに、子どもにどうやるのか。
- 国語は苦手だけど、今日は楽しかった。子どもたちもこうやると楽しいだろうから、こういう機会をつくりたい。クラスで意見を出して終わりにしないのができるとわかり勉強になった。

8月29日(土) 『大造じいさんとガン』(5年)

1 『大造じいさんとガン』の「言動の謎」

全場面の大造じいさんの「言動の謎」を、みんなで抽出した。主なものは次の通り。

- <1場面> 思わず感たんの声をもらしてしまいました。
- <2場面> 広いぬま地の向こうをじっと見つめたまま、「ううん。」と、うなってしまう。
- <3場面> なんと思ったか、再びじゅうを下ろしてしまいました。
強く心を打たれて、ただの取りに対してしているような気がしませんでした。
- <4場面> 大きな声でガンによびかけました。

2 『大造じいさんとガン』3場面(中盤)

大造じいさんの言動の謎、「なんと思ったか、再びじゅうを下ろしてしまいました」の文について、「じゅうを下ろしてしまった原因は何か？」という問題ができた。参加者の意見は、

- 1 仲間を助ける残雪に感動したから
- 2 残雪かどうか迷ったから
- 3 「なぜ、残雪がこんなところにいるの？」と不思議に思ったから
- 4 何が起きたのか分からなかったから

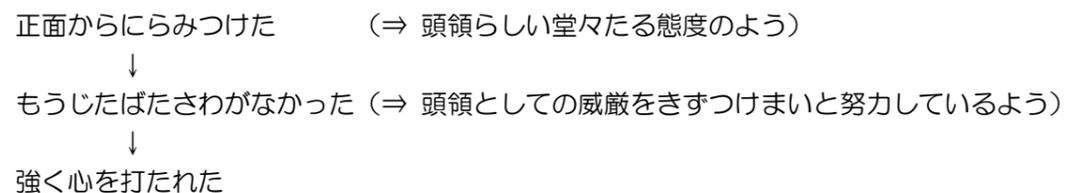
の4つで、I(1)とII(2・3・4)に分類整理して対立した。周辺の言葉「いきなり」の語意「**観察者**や**受け手**にとっては、予想もつかぬ事柄を**相手**が突然起こしたと映る」(基礎日本語辞典)を適用して、「**大造じいさん**や**ハヤブサ**にとっては、予想もつかぬ事柄を**残雪**が突然起こしたと映る」と解釈することで、Iは否定された。

3 『大造じいさんとガン』3場面(後半)

大造じいさんの言動の謎、「強く心を打たれて、ただの鳥に対してしているような気がしませんでした」の文について、「何に強く心を打たれたのか？」という問題ができた。参加者の意見は、

- 1 死ぬ間際でも、威厳をきずつけまいと努力していること
- 2 普通はじたばた騒ぐのにじたばたしなかったこと
- 3 長い首をもち上げて、死にそうなのににらみつけたこと
- 4 3を続けたことで、威厳を傷つけまいと努力していること

の4つで、I(1・2)とII(3・4)に分類整理して対立した。「強く心を打たれる」の「打つ」は、瞬間動詞であることや、「ても」の後件は大造じいさんの驚くべき予想外の出来事であること、さらに、次のような簡単な構造図の作成から、IIは否定された。



4 参加者の感想・質問

- 読みが変わるのを体感できて面白さを実感した。自分で調べてもバラバラで、調べたことが理解しきれなかった。
- 自身の思い込みが強いことを反省。深く読むには、「構造化」が大事なことが分かった。

